

## 第3学年3組 保健体育科（保健分野）学習指導案

指導者 養護教諭 深田暖生 (T1)

教科担任 山内香奈 (T2)

1 日時 令和2年7月7日(火) 第5時限 場所 3年3組教室

2 単元 「医薬品の有効利用」

～カナちゃんが叱られる！実は知らない正しい医薬品の使い方～

### 3 目標

- ・医薬品には、主作用と副作用があること及び使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。(知識)
- ・医薬品の正しい使い方について、自分の知識や仲間の意見をもとに考え、表現することができる。(思考・判断・表現)
- ・医薬品の正しい使い方について、積極的に調べたり、仲間と協力して課題解決に取り組もうとしたりすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

### 4 単元について

#### (1) 生徒観

本学級は、男子16名、女子18名、合計34名の学級である。通院して持病のための薬を服用したり、自分の判断で薬を服用したりするなど、日常で医薬品を使用している生徒が多い。「薬を使うときに気をつけていることは何ですか?」という質問には、「いくつ飲むか確認する」(31人)「いつ飲むか確認する」(26人)「水で飲む」(26人)と、使用量や使用方法について気をつけている生徒が多かった。医薬品に関する知識については、「正しい薬の量を飲んで、すぐに効かない場合でもそれ以上の量の薬を余分に飲んではいけない…○」「定期的に飲む薬を一度飲み忘れてたら、次に飲むとき2回分をまとめて飲んでよい…×」という質問は正答率96.0%と、薬の使用方法についてはある程度理解している様子であった。しかし、「薬には、全く副作用のないものもある…×」という質問は51.5%、「サプリメントは医薬品である…×」という質問は60.6%と、やや正答率の低い質問もあった。

保健室に来室する生徒の中には、「お腹が痛いので薬もらえませんか?」と聞いたり、薬を飲んだばかりで「薬を飲んだのに効かない」と話したりするなど、理解が乏しい生徒もいるため、正しく医薬品を使えるよう、医薬品のしくみや効果について科学的に理解する必要がある。

#### (2) 教材観

WHOでは、自分自身の健康に責任をもち、軽度な身体の不調は自分で手当することである「ヘルス・メディケーション」の重要性を提言している。現代では平均寿命が長くなり、生涯において健康を保持増進したり、疾病を予防したりするためには、医薬品を上手に活用することは必要不可欠である。

「医薬品の有効利用」の項目は、前回の改訂である平成20年3月告示の学習指導要領に新たに加えられたものであり、今回の改訂である平成29年3月告示の中学校学習指導要領の保健体育保健分野においても、「健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用すること。」と記載されている。

一般用医薬品がインターネットで購入できるようになったり、医薬品との区別がつきにくい健康食品やサプリメントも増えたりするなど、医薬品を取り巻く状況も少しずつ変化して

いる。医薬品は、効果やきまりを正しく理解して使用すれば、健康の保持増進につながることを踏まえ、現在ある医薬品の正しい使い方を理解し、生涯にわたり健康な心と体で過ごせるよう、医薬品を上手に活用できる生徒を育てたい。

### (3) 指導観

新型コロナウイルスの影響により、思うようにペア学習やグループワークができない現状だが、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、仲間と意見を共有し話し合うことは不可欠である。そこで、1人1台のタブレットを用いて、「発表ノート」と「グループワーク」を活用した話し合い活動を行うことで、できるだけ生徒同士が密接する場面を避け、仲間との対話を行う。

1時間目は、医薬品に関する基礎的な知識の部分を学ぶため、日本学校保健会の「薬の正しい使い方」の資料を活用し、医薬品の作用や使用方法、種類などの理解を深める。科学的な視点から理解できるよう錠剤やカプセルの模型を用意し、構造を目で見て医薬品の成分が体に作用するまでの様子を考えられるようにする。また、少量の水やジュースで飲むとどんな影響が起こるのか実験を行い、適量の水で飲む理由についての理解を深めさせる。

2時間目(本時)は、1時間目で習得した知識や、今までもっている知識を活用して考える機会を設定する。話題のテレビ番組のパロディで、教科担任が腹痛で医薬品を使用する場面を動画で提示することで、主体的に取り組む意欲を引き出す。次に、教科担任にアドバイスをするという形で、医薬品の知識を活用する場面をつくる。個人・グループで考えることで、考えが深まるようにする。最終的には、自分自身がアドバイスをしたような正しい使い方ができているかを振り返らせたい。そして、医薬品をどのように使っていくかを考え、正しい医薬品の使い方への意識をもたせたい。

## 5 単元計画

時数	学習内容・活動	指導者	評価方法	評価		
				知	思・判・表	主体的態度
1	正しい薬の使い方を学ぼう	養護教諭	・知識の取得状況をワークシートで捉える。 ・考えや表現について、発言や振り返りで捉える。	○	○	
2	正しい薬の使い方をアドバイスしよう	教科担任 養護教諭	・考えや表現について、発表ノートやグループワークでの発言で捉える。 ・主体的態度について、グループワークの様子の観察や発言で捉える。		○	○

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・医薬品の正しい使い方について、もっている知識や学んだ知識を活用しながら、個人で考えたり、仲間と協力して考えたりしたことを、根拠を示しながら表現することができる。(思考・判断・表現)
- ・医薬品の正しい使い方について、資料やタブレットを使って積極的に調べたり、グループワークに意欲的に取り組んだりすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 準備

生徒：筆記用具、「薬の正しい使い方(日本学校保健会)」※前時で使用

教師：タブレット(1人1台)、大型テレビ、医薬品の外箱が入った救急箱(8グループ分)、消毒液(8グループ分)、振り返り用ワークシート

(3) 展開

※下線部は手指消毒を実施

時間	学習活動	教師の支援	
		T1 養護教諭	T2 教科担任
2	1 本時の学習課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいを意識して学習課題に取り組むため、前時の学習を振り返った上で本時の学習課題を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習課題を確認できるよう、学習課題を提示する。</li> </ul>
<p>カナちゃんを救え！正しい薬の使い方をアドバイスしよう</p>			
15	<p>2 動画を見て、カナちゃんへの薬の選び方のアドバイスを考える。</p> <p>(1) <u>救急箱の中を見て、グループでカナちゃんに合った薬はどれか考え、タブレットの「発表ノート」にまとめる。</u></p> <p>(2) <u>カナちゃんに合った薬（2種類）と選んだ理由を発表する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胃腸薬…15歳未満も飲める。</li> <li>・ビオスリー…整腸作用がある。</li> <li>・セルベール…15歳未満は飲めない。</li> <li>・他の人の薬…処方された薬が飲めるのは本人のみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって授業に取り組めるよう、本時の流れを示す。</li> <li>・根拠づけて説明できるよう、その薬を選んだ理由を考えるよう促す。</li> <li>・アドバイスをする意識をもたせるため、教科担任へ説明するよう促す。</li> <li>・選ぶポイントを明確化するため、色を変えて板書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組む意欲を引き出すため、動画を提示する。</li> <li>・グループワークの活発化を図るため、机間指導でこの薬を飲んでよいか問う。</li> <li>・理解を深めるため、迷う薬について、なぜ選ばなかったのか理由を問い直す。</li> </ul>
25	<p>3 動画を見て、カナちゃんへの薬の飲み方のアドバイスを考える。</p> <p>(1) 動画を見て、個人でカナちゃんの薬の飲み方の問題点を考え、タブレットの「発表ノート」に記入する。</p> <p>(2) <u>グループごとに薬の飲み方の問題点をタブレットの「グループワーク」で整理し、正しい飲み方のアドバイスを考える。</u></p> <p>(3) <u>アドバイスをグループごとに発表し、全体で共有する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胃腸薬は2/3袋だよ。量を守らないと体の中の薬の量が増えすぎて、副作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の思考を助けるため、アドバイスが書けない生徒には資料を参考にするよう促す。</li> <li>・知識の活用を図るため、前時の学習を生かしてアドバイスができていないグループを認める。</li> <li>・出たアドバイスを整理するため、項目ごとにアドバイスを分類して板書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別で動画を見て問題点を確認できるよう、動画と服用した薬の外箱の写真をタブレットに送る。</li> <li>・問題点とその理由を考えられるよう、机間指導で具体的に問う。</li> <li>・根拠づけて説明させるため、理由があいまいな項目について切り直す。</li> </ul>

	<p>用が出るよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かみくだいて飲むと、効果が出てほしい場所に届く前に溶けちゃうよ。かまわずにそのまま飲んでね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関の利用や医師や薬剤師に相談することの必要性をおさえる。</li> </ul>	
8	<p>4 医薬品の使い方を振り返る。</p> <p>(1) 自分の生活を振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 振り返りを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カナちゃんのように水以外のもので飲むことがあったので、水で飲む。</li> <li>・普段の生活に間違っただけの薬の使い方がたくさん隠れていることが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返る点を分かりやすくするため、カナちゃんへのアドバイスで出た意見を参考にしよう促す。</li> <li>・学んだことの理解を深めるため、家庭で保護者に医薬品の使い方を話すよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活に当てはめて振り返りができるよう、机間指導で具体的な場面を示す。</li> <li>・医薬品の使い方のポイントをおさえるため、本時を生かした振り返りができている生徒を指名する。</li> </ul>

#### (4) 評価の観点

- ・もっている知識や学んだ知識を使い、カナちゃんへのアドバイスを考え、個人やグループで発表ノートにまとめることができたか。 <発言・発表ノート>
- ・資料やタブレットを使って積極的に調べたり、グループワークで積極的に発言したりするなど、意欲的に学ぶことができたか。 <グループワークの様子>

#### (5) 板書計画

カナちゃんを救え！正しい薬の使い方をアドバイスしよう				今日の時間の流れ			
<b>STEP 1 薬の選び方</b>		<b>STEP 2 薬の飲み方</b>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">胃腸薬</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ぶポイント</li> <li>15歳未満も飲める</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">ビオスリー</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ぶポイント</li> <li>整腸作用がある</li> <li>医薬部外品だけど...</li> </ul>	<p>&lt;薬の作用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副作用を放置</li> <li>病院で相談</li> </ul>	<p>&lt;使用回数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効かないから2回飲む</li> <li>回数を守る</li> </ul>	<p>&lt;使用時間&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空腹時に飲む</li> <li>食後に飲む</li> <li>何か食べてから飲む</li> </ul>	<p>&lt;使用量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1袋飲む</li> <li>2/3袋にする</li> <li>表示を確認</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">セルベール</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だめな理由</li> <li>15歳未満は飲めない</li> <li>→肝臓や腎臓の発達</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">他の人の薬</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だめな理由</li> <li>体質に合わないかも</li> <li>副作用の可能性</li> <li>処方された薬は強いから危険</li> </ul>	<p>&lt;飲み方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚙んで飲む→そのまま飲む</li> <li>・スポドリで飲む→水で飲む</li> <li>・かぜ薬と鎮痛薬→表示を確認</li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">振り返り</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因が分からずたくさん飲む</li> <li>→わからないときは病院</li> </ul>			